

新聞の切り抜きより

副会長 千葉 一

何もしなくても時間は流れる。

副会長職7年目。横須賀三浦放射線技師会のお役に立てたか？否！何も出来ずに今日がきた。もとより能が無いのだからしょうがない。これはいけない。何かをして時間を積み重ねなければならないのだ。創立50年を迎えた我々の技師会は今、新しい風を必要としている。以下は、ある新聞の切り抜きである。

日本の多くの企業で、人々が最も関心を持つことはなんだろうか。決して仕事のことではない。組織内の「和」をいかに保つか、ということである。朝から晩まで、人々はそのために気を使うのだ。

『日本人にとって和とはなにか』で、高際弘夫・愛知学院大教授は、そんなふうに出している。高際さんによれば、職場で一人だけ能率をあげることは、必ずしも望ましいことではない。同僚を明らかな競争関係に引き入れ、同僚の無能さを証明し、傷つけ、職場の和を乱す恐れがあるからだという。

本当は議論が必要なのに、和を乱さないために議論を避ける、という場合もあるそうだ。また、一人異なった意見を述べるよりは、みんなが賛同している意見に加わるか、さもなければ口を閉ざしてしまう、という傾向もみられるという。その結果、問題をよりよい形で解決できる方法が目の目をみない可能性も出てくる。

「和を以て貴しとなす」のか、「和を以て貴しなさず」が良いのか。

第2回理事会報告

日 時、7月17日(金) 18:30～
場 所、横須賀共済病院会議室
司 会、千葉副会長
出席者、17名

1. 会長報告

50周年記念行事を無事終了することができ、ありがとうございました。ご協力に感謝致します。

5/1横須賀市役所保健福祉部救急医療センター担当者へ横山理事から松井理事への担当者変更の挨拶にいった。救急センター会計が弘金氏から大藤氏に代わった

2. 庶務経過報告

- 5月 1日 横三技98-8号にて横須賀市役所保健福祉部救急センター担当者宛て、当会担当理事の変更を通知
(横山氏より松井氏、会計・弘金氏より大藤氏に)
- 8日 第11回50周年実行委員会を開催
- 15日 臨時50周年実行委員会を開催
衣笠病院・田中祐樹技師入会
- 21日 第1回救急業務連絡会開催
- 23日 創立50周年記念式典開催(横須賀プリンスホテル)
会員85名、賛助会員53名、来賓37名 計175名
- 6月 5日 横須賀共済病院菅原保富技師の実父に弔電
- 12日 第2回理事会開催案内を送付
- 15日 横三技98-9号にて横須賀北部、横浜南両共済病院院長宛てに救急センターへの技師派遣要請を送付
- 16日 第2回救急蘇生講習会案内を送付
- 7月 8日 保健福祉部へ救急担当理事及び三役で挨拶に伺う
- 10日 会報第70号を発送
- 14日 渡辺東洋雄氏(自宅)に療養見舞金を給付
- 17日 横須賀市民病院・海老沼隆氏へ祝電

3. 会計報告

50周年記念事業会計報告は総会迄に整理して報告出来るよう要請があった

4. 各部報告

【学 術】

7/25(土)開催予定の救急蘇生勉強会への参加者は18名との報告があった

【広 報】

7月に第70号を発行したが、そこに載せるべき原稿が豊富でおもしろいのが多かったので、次号に特別企画として50周年記念事業感想文を掲載し9月初旬に出したいので期待してほしい。

【福利厚生】

今年度の三部合同の救急蘇生勉強会の時間が午前中のため夜まで間がもてないので納涼会は中止とするが、その分何か行事を行いたい

【救急センター】

センター責任者として新任ですのでよろしくお願ひしたい。前任者との引き継ぎも済み頑張っていきたいのでご協力を願ひたい。また次の点に関し改善を進めたいと考えている。

- ①操作室が倉庫のようになっているので、整理したい
- ②事務処理を簡素化したい
- ③古いカセット、プロテクター等を技師会で処分してほしい
- ④日曜日の勤務体制を考えたい

その他

千葉副会長より、救急センターに金谷正人氏が協力したい申し出があった

5. その他

会長より、50周年記念式典を盛会裏のうちに終了できました。本日をもって実行委員会を解散する事とします。ご協力ありがとうございました。

地区委員会報告

平成10年7月17日(金)

地区委員 新倉雅人 記

開催日時：平成10年7月9日(木) 18時30分～20時40分

開催場所：(社)神奈川県放射線技師会 504会議室

- 議題
- 1-理事会報告
 - 2-各委員会報告
 - 3-その他

理事会報告

1. 関東地域会長会議(6月19日)開催 会長 副会長出席
日本放射線技師地域理事に埼玉、茨城、神奈川、山梨の各会長が就任
関東地域連合会三役(任期2年)決定
代表：神奈川県
財務：茨城県
幹事：山梨県
2. 関東地域放射線技師学術大会が鬼怒川観光ホテルで開催、参加人数469名(神奈川県20名)予定されていた特別講演、中村会長から熊谷副会長に変更
3. 平成11年度関東地域放射線学術大会は平成11年6月19日～20日に山梨県にて開催場所は八ヶ岳ロイヤルホテルを予定 神奈川県に対して10演題程度の発表依頼あり
4. 東京都、神奈川県技師会懇談会(6月17日)開催
東京都：神田会長、中沢副会長 本県：三役出席
議題として都県境の会員の取り扱い及び昭和大学3年制学校問題について話し合われた。
5. 神奈川県医療専門職連合会役員として本会より
長谷川 武(副会長)
志田潤治(理事)
斎藤 節(理事)
の3名が選出されました。
6. 県立保険医療福祉系高等教育機関設備基本構想についての説明がなされた。

各委員会報告

1. 庶務：会員数 1415名（6月22日現在）4月～6月の新入会員数17名
2. 総務：年間スケジュール（最後に掲載）
3. 学術：神奈川県放射線技師会生涯教育システム施行（平成10年7月1日より）この生涯教育システムは本会独自で実施するもので、その他の団体とは関連しない。神奈川県技術講習会の出席チェックを今年度より午前午後2回に分けて行う。

その他

1. 技師会入会促進パンフレットが作成され、印刷の為の予算が借地されたが運用方法は未定。
2. 社会福祉委員会の開設に伴い技師会で募金活動を行う。会員の全員が携わる意味で各地区技師一人当たり年間200円程度の募金をお願いしたい。
3. ボランティア活動を実践している団体、個人を会誌（神奈川放射線）紹介、県技師会のボランティア活動の一環としたい。各地区技師会からこれらの団体、個人を推薦していただきたい。
4. 12月の講習会内容 消化管について

神奈川県放射線技師会平成10年度事業日程

4月	特に無し	
5月30日	決算総会	横浜技能文化会館
6月18日	ブロック会長・拡大役員合同会議	横浜技能文化会館
7月12日	神奈川県診療放射線技術講習会 神奈川放射線N○155号発行	横浜西公会堂
8月23日	神奈川県診療放射線技術講習会	横浜西公会堂
9月 6日	神奈川県診療放射線技術講習会	横浜西公会堂
19日	第11回 I S R R T 世界大会	幕張メッセ国際会議場
～23日	神奈川県医療専門職連合会賛助会員研修会 神奈川放射線N○156号発行	
10月3日	県医療専門職連合会慈善講演会	横浜市健康福祉総合センター
11月7日	学術振興フォーラム（予定） 神奈川放射線N○157号発行。 会員名簿発行	
12月4日	神奈川県病院協会	
6日	神奈川県診療放射線技術講習会	横浜西公会堂
1月10日	神奈川県診療放射線技術講習会 新春賀詞交歓会 神奈川放射線N○158号発行	横浜西公会堂 ホテル横浜ガーデン
2月7日	神奈川県診療放射線技術講習会	横浜西公会堂
3月	予算総会 神奈川放射線N○159号発行	

50周年記念実行委員会1年の軌跡

第1回 平成9年5月9日（金）

◎ 開催予定日の決定 平成10年5月23日（土）

◎ 会場 横須賀プリンス（予定）

○大枠の予算、規模など各ブロックの予算割りを3役と会計、庶務を交えて会議を行い各ブロックに連絡をする

○全会員一丸の元に50周年式典を成功させるために、その役割分担を各会員の病院別に決定されたいとの執行部の要請を受け次の様に決定させて頂きました。

○渉外

パシフィックホスピタル、逗葉地域医療センター、上大岡総合検診センター、蒲田総合病院

○式典

神奈川歯科大学、国立横須賀病院、自衛隊、平塚共済病院、野村内科クリニック

○展示

三浦市民病院、国立久里浜病院、横浜赤十字病院

第2回 平成9年6月27日（金）

○議題 1) 各部振り分けについて

2) 各部活動計画について

3) その他

○委員長より予算案の説明

・特別会費の徴収、来年度の総会にかけて議決する

・賛助会費を50万（大枠の目標額）

・プログラムは、手作りで庶務にて作成

・予算案に付いては、とりあえず決定して各ブロックで希望があれば変更を考える

・表彰は、執行部に委任

・式典部門より会場の確認

○中井副会長よりの提案の検討

・神奈川県放射線技師会のプランを参考にしては、どうか？

○各ブロックよりの会議報告

○記念誌

役割分担を決定

○展示

展示会場を把握してから行動したい

○式典

・会場を決定したい（横須賀プリンスでよいのか）

・来賓の選択の決定は、どうするか？（今回は、結論がなく以降に持越）

第3回 平成9年7月25日（金）

○ 議題 1) 各部振り分けの検討

2) 役割分担の検討

3) その他

各部振り分けの検討

各部門よりの予算案の検討

○渉外

・講演者依頼の件での確認と提案

・講演時間の確認

・資金調達の確認 会長、副会長に任せる

○式典

・期日の予約がとれた（横須賀プリンス）

・但し、予算枠少しオーバーの可能性大

（横須賀プリンス提案の時間帯を使用すれば予算内で可能か？再度時間帯の検討と交渉）

・予算不足分（花、看板等）予備費より申請して補充

○展示

・会場スペース決定後、規模、レイアウトを決める

・案 写真展示

○記念誌

・各施設の写真を載せる

・会員に回顧録を依頼

・原稿があがってこない

・300頁位

- 祝辞を依頼する
(会長、県、日放技会長、市長、厚生大臣)
- 役割分担の検討
 - 庶務
 - ・案内状の用意、発送
 - ・来賓、賛助会員 手作りで封書にて発送
 - ・会員 往復はがきにて発送
 - ・当日プログラム 手作り
 - ・第1～3回までの議事録を会報に載せる
- その他
 - ・特別会費の徴収時期をボーナス時期にする
 - ・10月末に案内発送(渉外-書面作成、技師会報に載せる)
 - ・発送は、庶務にて行なう
 - ・野村内科クリニック不参加
 - ・元横浜南共済病院技師長高橋先生再入会

第4回 平成9年9月19日(金)

- 議題 1) 各部報告
- 2) その他

- 式典

- ・横須賀プリンスとの交渉の結果、15時より確保
- ・80万円位で可能に成りそうである。但し、垂れ幕、花代は入らない
- ・展示の場所も半額位で借りれそうである。
- ・スペース的に可能であれば、部屋の外に置く事も出来る。
- ・パネル4、5枚ならプリンスホテルが用意してくれるが、それ以上は展示する台をお金を出して借りるか、こちらで用意する。
- ・展示に関しては、展示担当に任せる

- 渉外

- ・講演依頼の件で会長から連絡を受けたが講演ジャンルの決定に迷うので決めてほしい
- ・案) 当地に縁のある人
- ・仕事に関係ない人
- ・決定 ジャンルは芸能界

- ・希望順位 1) たかしま ひでたけ氏
- 2) 和田 アキコ氏
- 3) 名取 祐子氏

○展示

- ・場所を見てから行動したい

○記念誌

- ・レイアウト報告
- ・年表作成でS37～S52までの資料不足なので困っている
- ・S47～S50までの書記等の表記が統一でない
- ・各会員の発表を載せたいので、発表者は自己申請してください
又は、会報が全号そろってないので欠落号を欲している

○その他

- ・特別会費納入者がありました
- ・記念誌に小泉厚生大臣の祝詞を依頼する

第5回 平成9年10月27日(金)

- 議題 1) 各部報告
2) その他

○式典

- ・講演者の控え室は、どうするか(予算の件もあるので)

○渉外

- ・講演依頼の件は、進展なし
- ・特別会費依頼は、40周年記念を参考にしたい
- ・委員長より参考資料を早急に渡します

○展示

- ・県技師会の50周年を観てきた報告
- ・院内等にあるようなポスター展示が多かった
- ・当会員が対象なので、どのような展示にするか迷っている
- ・案として

目先を変えた展示

- ・横須賀の歴史を写真などで展示
- ・各病院の現在、過去
- ・臨床写真の歩み

仕事に関連した展示

- ・機器の展示
- ・50周年を踏まえた、昔の機器やフィルムを資料にする
- ・各施設のチャンピオンデータを持ちより展示

○記念誌

- ・県技師会の協力依頼を参考にして当技師会50周年記念誌協力依頼を作成致しました
- ・業者に投稿依頼をしました（コマーシャルは遠慮して頂く）800から1200字位
- ・締め切り12月20日
- ・紙面に余裕が有るので会員の方の投稿もどうぞ
- ・各施設の写真は、コニカ依頼分は終了、千代田依頼分があと2～3枚で終了予定です
- ・前回依頼の会報欠落号は、技師会庶務に有りました（委員長より）

第6回 平成9年12月5日（金）

- 議題 1) 各部報告
2) その他

○式典

- ・進展なし

○渉外

- ・講演依頼の件は、進展なし
- ・会長が打診中
- ・特別会費依頼は、40周年記念を参考に作成中
- ・会報に特別徴収の依頼を載せる

○記念誌

- ・救急センターの資料の欠損があり、横山氏の記憶と県の技師会の資料を参考にする
- ・写真のコメントは、記念誌部門にて検討
- ・写真（各施設の人数、枚数割りは、各施設3～4枚、1枚で5人位で合成写真も考慮中
- ・この方針で記念誌部門に任せる
- ・年表に載せる事項は、平成9年度総会までにする

◎ 理事会に提案事項

- ・研究会、画像検討会での名称の統一化
- ・研究会、画像検討会の開催番号の整理を提案する

第7回 平成9年12月5日(金)

○議題 1) 各部報告

2) その他

○式典

- ・横須賀プリンスホテルの三浦の間を借り、2つに分けて式典とパーティーに使用する
- ・費用は80万円位(看板、花等、税込み)で出来そうです。(人数100名位で)会場が広いので人数目標を120名位に持って行きたい
- ・費用を100万円位に予算計上出来ないか(人数120名位で)
- ・横須賀プリンスよりパーティーコンパニオンの利用を勧められ、予算次第で利用する
- ・表彰、花、リボンの接待を女性会員に願います
- ・式典の司会は、会員にするか、司会者を頼むかプリンスに金額等を聞いてみる。

○渉外

- ・講演依頼の件は、会長が打診中
- ・賛助会員への協力依頼を会長が用意しました
- ・来賓依頼を渉外より発送する

○展示

- ・会場を見てきました
- ・神奈川県技師会のパネルを借りられれば、活用したい
- ・横須賀・三浦放射線技師会の貢献度を考え救急センターの展示を考えている。
- ・通常業務の様な内容の展示
- ・業者等による参考資料になる様な物の展示

○記念誌

- ・記念誌の表紙は、横須賀市立市民病院の高久さんをお願いしました
- ・依頼した文章は、幾つか集まっています
- ・研究発表の掲載は事業報告で代用出来るので掲載しない
- ・賞、叙勲は掲載する
- ・写真のコメントは、各技師長宛てに文章の定型を作ってお願いをする
- ・1月下旬に会合を持って頁合わせをする

○その他

- ・中井副会長より、来賓者のリストアップ
- ・表彰の件、栗田、福島、関野、加村、橋口氏を表彰する。横山氏は、市長表彰を考える

- ・賛助会員等の表彰は執行部に委任する
- ・50周年記念行事の順序は、前回同様に講演→式典→パーティーの順
- ・正式名称は、横須賀・三浦放射線技師会創立50周年記念
記念講演会
記念式典
記念祝賀会
- ・記念祝賀会の司会は、齋藤(節)さんと女性会員にお願いする

第8回 平成10年2月27日(金)

○議題 1) 各部報告
2) その他

○式典

- ・横須賀プリンスホテル見積の提出が有りました

○渉外

- ・来賓リストの住所を確認しています
- ・案内状を渉外にて作成、印刷、発送致します

○展示

- ・方法と時間については、展示部門に委任します

○記念誌

- ・2/24第9回編集会議を行いました

○その他

- ・表彰の件、市長表彰の件、特別功労賞。
- ・小泉衆議院議委員(現厚生大臣)の祝辞、来賓(代理人の可能性も有り)の依頼を快諾されました
- ・中村会長の祝辞文は、頂きました
- ・横須賀沢田市長の来賓の件了承を得ました
- ・記念祝賀会の中での演奏は、蛇味線、エレクトーンを交渉。
- ・庶務より白封筒にて各会員に出欠席葉書と案内状を技師会報に入れて送付する
- ・早急に式典及び記念祝賀会の式次第を決める
- ・講演会参加希望の外部の方は、事務局に会員を通して連絡ください
- ・各病院に配布予定のポスターは、横須賀共済病院の方に依頼中です

第9回 平成10年3月20日(金)

○議題 1) 各部報告

2) その他

○式典

- ・司会の件。コンパニオンは、5人依頼。
- ・確認事項、ピアノ、エレクトーン、蛇味線、マイク、クローク、お
- ・茶出し等の確認をとる
- ・胸章は、県技師会より借りる(個数を確認)
- ・当日の人員配置は、プリンスに参考意見を求めてから決める

○渉外

- ・会員が施設長に来賓依頼を出したい時は、希望を受け入れる
- ・関連団体の臨床工学士、理学療法士、作業療法士は、横須賀代表がいないので県の代表に主旨を述べて依頼する。
- ・リストアップ者の確認。
- ・来賓者の祝辞依頼は、一人2、3分程度でお願いをする
- ・挨拶は、三役で割り振る
- ・チケットは、市民病院の高久氏に依頼しました

○展示

- ・進展なし

○記念誌

- ・3/23に印刷に出します
- ・頁数は、200頁位の予定
- ・表彰、叙勲の掲載

○会計

- ・予想より順調に集まっています

○庶務

- ・理事、実行委員の出欠席の確認を庶務に確認
- ・来賓者氏名の確認
- ・式次第の報告

○その他

- ・記念式典、記念祝賀会の来賓挨拶決定。
- ・平成10年度横須賀三浦放射線技師会の理事留任の報告

第10回 平成10年4月15日(金)

○議題 1) 各部報告

2) その他

- 式典
 - ・横須賀プリンスホテルの担当者入院中にて進展なし
- 渉外
 - ・来賓依頼を出しました。チケットは、高久氏より完成の報告
- 展示
 - ・各施設に依頼を出しました。各施設の機器設置状況のリスト配布
 - ・リストに骨塩定量、乳房専用撮影、特殊撮影装置の項目追加
- 記念誌
 - ・原稿を印刷所に出す
 - ・来週に校正を始めます
- 会計
 - ・特別会費納入の現況報告
- 庶務
 - ・来賓者、会員及び賛助会員の出欠席の確認を、実行委員と理事に確認してもらい庶務に報告。
 - ・出席委員施設に出欠席の現況報告書を配布
- その他
 - ・県技師会よりパネル、胸章の借用
 - ・ポスターが完成し各施設に配布

第11回 平成10年5月8日(金)

- 議題 1)各部報告
- 2)その他

- 庶務
 - ・前回報告
 - ・庶務より参加会員、賛助会員名簿、来賓者、表彰者名簿資料提出
 - ・役割配置案配布
- 渉外
 - ・表彰賛助会員、及び協賛金未払い賛助会員に連絡する
 - ・賛助会員の出欠席の確認をとる
- 展示
 - ・展示内容についての資料配布
 - ・展示メーカーは、複数を検討
- 記念誌
 - ・本日原稿が、できてきました
 - ・記念誌の袋を業者に確認する

- ・横須賀プリンスに手提げ袋を交渉する（実行委員長）

○式典

- ・功労表彰者、賛助会員感謝状授与者の記念品は、補正予算を組んで購入。賛助会員表彰は、5年以上の賛助会員21社に感謝状と記念誌を贈る
- ・表彰状、感謝状を印刷に出しました
- ・筒の数を確認
- ・表彰順及び席順の決定。

○その他

- ・垂れ幕が完成しました
- ・千葉副会長より当日タイムスケジュール案配布
- ・当日の実施要項配布
- ・記念講演 鳥居かほりさん演題決定 「私のカルテ庫」

第12回 平成10年5月18日（月）

◎最終会議を開催（理事会理事も合同出席）

○庶務

過去の流れを一括し報告する

- ・庶務、会計より資料配布
 - ・資料を実行委員及び理事に確認及び変更、追加
 - ・表彰の件
 - ・功労表彰、救急センター関係功労表彰、賛助会員感謝状
 - ・欠席者は、名前を読む
 - ・席順は、リスト順とする
 - ・プリンスホテルに聞くこと
1. タイムタイムスケジュールを見てもらい参考意見をもらう
 2. 祝電を入れる時期を聞く
 3. 司会補助大石の居場所を聞く
 4. 秘書と運転手さんの待機方法を聞く
 5. 懇親会の見積もりを聞く
 6. 講演者の先導方法
 7. 来賓者の先導方法

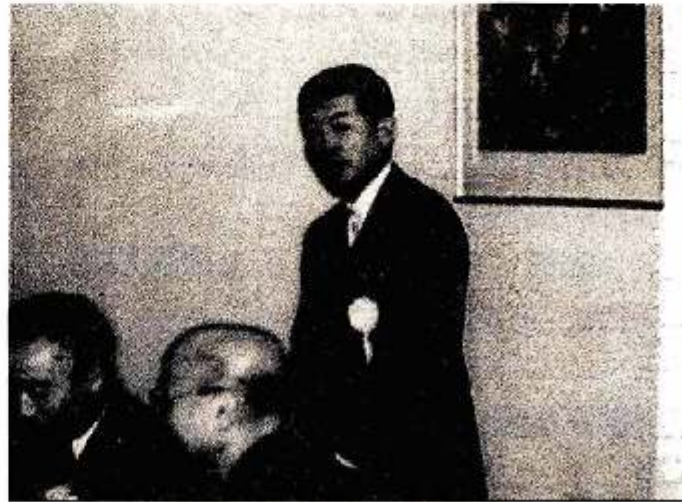
特集

我、かく50周年に参戦せり！

理事・実効委員より

みんなみんな本当にありがとう

副会長 中井武美



平成10年5月23日横須賀三浦放射線技師会創立50周年記念行事が横須賀プリンスホテル三浦の間で多くの来賓、会員の出席を得、盛大に開催されました。2年近くの準備期間の間、実行委員長を始め実行委員、会員各位の御協力を得て4時間に及ぶ大イベントは無事終了しました。ま、ホッとしました。しかし挙げれば切りないほど人材がいるものですね。グランドデザインを描きマネジメントしていった人達。ホテルとの折衝や。受付、会場の切り盛りを担当しみごとに決めたグループ。招待状の作成や発送、記念品まで用意した人達。多くの人達が目を止めていたロビーの展示を担当した人達。古い資料を探し求め、ちぐはぐになっていた研究会や勉強会をこの機会に整理し大きな仕事を仕上げた記念誌作成の人達。これらの行事がうまく回転するには何といたってもお金。金繰りを常に把握し、やりくり上手な金庫番の人達。記念誌の表紙のデザインや、祝賀会のチケット作成に抜群の能力を発揮してくれた会員。受付やVIP接待に力添えしてくれたボランティアの人達。そしてこれらの行事を心から協力してくれた130名の会員。そして賛助会員の公私にわたる側面からのサポートがなければこれだけの記念行事を遂行できなかったと思います。

みんな、みんな本当にありがとう。ありがとう。

50周年哀歌～こんなこともあった



副会長 千葉 一

某年〇年×日、中井副会長曰く。「50周年記念式典Xデーとして、そこから逆算して段取りを決めなくてはいけない。その辺のスケジュールをキチッとさせなければ、今、何をすべきか、これから何をしなくてはならないかがハッキリしてくる。Xデーを決めようじゃないか。」……誠に似て卓越したご忠告。あれこれもめて、Xデーは平成10年5月23日（土）に。

Xデーは決まったけれど、さて何をどうするか。準備委員会で記念史の方は進めてきたが、それ以外は全く白紙。服部実行委員長しどろもどろ。「とりあえず実行委員会で皆様のご意見を伺って見て……」結果、実行委員会を渉外、式典、記念史、庶務、会計とブロック分けし、各担当で煮詰めることに。……先行きに暗雲。

平成8年5月8日、第一回50周年準備委員会開催。平成9年5月9日、準備委員会から実行委員会と名称を変え第一回50周年実行委員会開催。2年にわたり議論を重ね、用意周到に準備をした。それぞれの担当の努力たるや。

いよいよもってXデーまで1ヶ月。会合は深夜におよび、終わってからイッパイやる店も開いていない。羽布津、小太郎は体力、気力の限界（千代の富士はこれで引退した）。……準備万端。横須賀三浦放射線技師会は想像を越えた力を発揮した。段取り八分、成功間違い無し。チト不安。当日、13時に会場のプリンスホテルロビーに集合。20分も前に着いたのに、もう皆顔を揃えている。「何故だ、何故こんなに早いんだ。」不安と期待の現れか、今頃ジタバタしても始まらないのに。……施設を超越した素晴らしい仲間だ。ここまで来るのに大変だったもんネ。

新倉会長「高久、終わったらイイところにいこうナ。」「ハイッ！！」

50周年記念史の編集を終えて

横須賀市立市民病院 小林 誠・三條雅史・高久博樹

長かった2年間の編集委員会もやっと終わりをつけ、ほっとしています。昨年、神奈川県放射線技師会の50周年記念誌の編集委員も行いましたが、その経験を生かしきれずに、何もしない間に終わってしまいました。県の50周年記念誌の表紙をデザインした、高久さんを巻き込み、表紙や、チケットなどに活躍していただいたおかげで、県技師会に負けない記念誌が出来上がりました。

60周年、70周年で記念誌を発行するかどうかわかりませんが、作成するときには、また高久さんにがんばってもらいたいと思います。

(小林 誠)

YMBITの頃から、技師会会合のノートをワープロに打ち込み、その後、準備委員会、実行委員会と長い長〜い道のり乗り越え、ようやく迎えた50周年式典当日、好き勝手に書かれた紙と酔いどれの記録が、派手なカバーに包まれて、立派な本に化けていた。

50周年記念史は、50年間の記録をまとめたと言うよりも、50年間分のつけを払った気がする。幾らみんな酒が好きでも、払いは、即金でね。

(三条雅史)

私が編集委員会に参加したのは昨年、後半からの途中参加でした。表紙のデザインをしてくれないかとの依頼で、県の記念誌と同じように、2色刷りで50の大きなロゴを入れたもの（出来上がった記念史の中表紙）を何種類か提出しましたが、いまいち反応が良くありません。「なんか県と同じダナ」....（あたりまえじゃん、同じ人が同じように作ったんだからと思いつつ）、それならこれでどうだ！と取り出したのが、フルカラーで関東平野の衛星写真に50の文字、記念誌の文字もブルーの半分スケルトン。（実はこんな事もできるんだぞ！と、冗談で作ったもの）これを見た編集委員の皆さん「いいじゃん、これで行こうよ」....（ま、待って、それは冗談で作って、お金も時間もかかるし....）というわけで決まってしまう。それからが大変、新倉会長と服部実行委員長からの注文が細かいこと、「記念誌の誌を史に変えてくれる（でも歴史を書き綴った本だから誌の方が....ううん記念する歴史だから史でいいの）、文字も黒にしてくれる（ブルーの方が映えると思いますけど....ううん、いいのハデ過ぎるから）、赤の帯びを三本にしてくれる（どうしてですか....横三

の三だから)、記念史の文字が写真にかぶらないようにね、写真で三浦半島を真中にしてくれる、それで三浦半島から50の字が飛び出してくる感じにして、.....等々」様々な難問を克服して、皆さんが手にしているあのような表紙となったわけです。一時はこんな調子でホンマにできるのかいな？と思ったこともありました。(実際に完成品を手にしたのは式典当日でした)まあ、いろんなことがありましたけど、立派な(もちろん内容も)記念史が完成しました。この編集に携われたことを光栄に思います。編集委員の皆さんお疲れ様でした。そして50周年実行委員の方々、お手伝いしてくださった皆さん、本当にご苦労様でした。(会長からごほうびもいただいたし、また連れってください、ネッ会長！)



な？と思ったこともありました。(実際に完成品を手にしたのは式典当日でした)まあ、いろんなことがありましたけど、立派な(もちろん内容も)記念史が完成しました。この編集に携われたことを光栄に思います。編集委員の皆さんお疲れ様でした。そして50周年実行委員の方々、お手伝いしてくださった皆さん、本当にご苦労様でした。(会長からごほうびもいただいたし、また連れってください、ネッ会長！)

(高久博樹)

50周年記念裏話

実行委員長 服部祐治

来賓者34名、会員81名、賛助会員53名、他の会員3名、総来場者数 171名を数え、皆様のご協力により、無事50周年記念行事を終えることが出来ました。

平成8年の準備委員会から始まり、1年前の実行委員会へと本格的な記念行事への準備が始った。実行委員会では式典、展示、記念史、交渉の4ブロックに分け、それぞれに責任者を置き活動していただいた。来賓者の接待には、閑野、栗田、加村相談役にお願いするなど、総動員の体制であった。

会場と予定した横須賀プリンスホテルとの折衝では、式典関係の担当にずいぶん無理な交渉をお願いしたが、副支配人が直接担当していただき、記念行事終了まで何かと配慮いただいたのも、成功裏に終了できた要因であったと思われる。

来賓者の招待に於いて、小泉厚生大臣の出席に関し、5月の初頭に大手新聞社より大臣が50周年に式典に出席されるとのうわさが入り、会長が誤報であると言うことを打ち消した場面もありました。また、記念講演会では講演者の人選に難航し、2月の半なりようやく女優の鳥居かほり様より快諾を得たが、3月よりアニー（ミュージカル）が始り、打ち合せは5月に入った1週間前の土曜日に、会長と実行委員長の名で青山劇場に出向きあいさつと打ち合せを行なった。

尚、余談ではあるが、ミュージカルに鳥居様より招待状が送られ、ふたりで思わず「役得だね！！」と顔を見合せ、オペラグラスを手にミュージカル・アニーを堪能した。

記念史作成では、資料集めが難航せずいぶん予定より遅れ、記念行事当日の2日前に製本が出来上がった。賛助会員からは28名の寄稿があり、それぞれに面白い内容であった。面白く読める内容の記念史と思い試行錯誤したが、批評は読まれた方にお任せし、ご意見があれば実行委員長か編集長までご一報いただければ幸いです。

手分けをして校正を行なったが誤字、脱字など読み取りにくい箇所もあるかと思われませんが、どうかご了承いただければ幸いです。

当日の記念行事において、多少の手違いはあったと思われませんが、総合的には100%以上の出来栄であったと思われる。有難うございました。



展示風景



講演会風景



実効委員長

50周年記念行事をがら展示係りから

展示担当・宮村 聖也

展示した内容

- ①県技師会作成のポスター（6枚）
- ②フィルム展示（半切20枚）
- ③FCRビデオ（1台）
- ④MRIビデオ（1台）
- ⑤DSAビデオ（1台）
- ⑥胃部間接フィルム（1台）
- ⑦救急センター件数の変化（1枚）
- ⑧横須賀、三浦所有の撮影治療装置の台数（1枚）

展示参加メーカー

- ①東芝メディカル（MRIビデオ）
- ②富士メディカル（FCRビデオ）
- ③コニカ（シャーカステン運搬作業）

フィルム展示協力施設

- ①三浦市民病院（CT関係）
- ②横須賀共済病院（MRI関係）
- ③横浜南共済病院（RI関係）
- ④横須賀市立市民病院（DSA・DR・間接）
- ⑤北部共済病院（シャーカステン提供施設）

シャーカステンどうなりました？

『宮村さん、シャーカステンどうなりました？』浜ちゃんこと北部共済病院の浜田さんが背後から聞いてきた。50周年実行委員会の最終打ち合わせの終盤の席上である。

『これから話そうと思っていたところなんですけど。』

『良かったら、うちにあるんですけど、使います？』

『あるんですか?!』

『ええ。技師長にも話しはしてありますから。』

使うもなにも、使うに決まっている。地獄に仏とはこのことである。各メーカーにお願いしても

『うちにはー?』 『無いんですよ。』 『ボロボロですよ。』

などなどおしゃる。ありそうな施設にお願いしてもなかなか色良い返事が貰えない。式典は間近かに迫っている。シャーカステンの運搬作業につい

てはコニカの高木さんをお願いしてあったが、どこから借りるか決まらない。会議の席上このことを報告すると。

『メーカーをお願いしなさい。もってるはず、40周年のときは借りたんだから。』会長。

『あっても、ボロボロだそうですが？』

『紙を張るから大丈夫。』

『紙をですか？・・・・・・。』

以上のようなやり取りを前回の会議の席上でした後での、北部共済病院の浜田さんの『宮村さん、シャーカステンどうなりました？』である。まさに救いの神に感じられた。北部共済病院の技師長ならびに関係者には心よりお礼を申し上げる次第です。

それから、運搬作業にあったてくれた高木さん。大変でしたねー。

私も少しはお手伝いしましたが、前日の夕方に北部共済病院でバラシてホテルに運び、翌日式典前に暑く暗く臭い地下駐車場で組み立て、式典会場に運び、終了後にまた同じことを繰り返しましたね。心よりお礼を申し上げます。また、前日、当日展示に協力してくれた会員の人達にもお礼を申し上げます。



ちょっと休憩

いらっしやいませ



医師会長

記念撮影



新救急センター担当理事になって

浦賀病院・松井 清

前担当理事の横山英彦先生が、当会の規約により定年を迎えられ、救急担当理事を降りる事になりました。（長い間ご苦労様でした）そのために後任が私に回ってきました。順番（つまり年かな？）から行けば当然の事かも知れません。

担当が私に変わったからと言って特別に変る事は基本的にはないと思います。何せ、今まで横山先生には、おんぶ、それに だっこ、状態で何も分からないまま現在に至っている次第で御座います。どうか、技師会の御協力と絶大なるバックアップにより、よりよい救急業務を遂行して、行けるように私自身、そして現在センターに従事されて居る技師の先生方の御協力により、何とか前向きに頑張っていきたいと思えます。又、会計には引金規正（神奈川歯科大学）から大藤和男（横須賀共済病院）に変更になりましたので、併せて宜しくお願い致します。

救急医療センターの会計になって

横須賀共済病院・大藤和男

今回、地区技師会が委託契約を結んでおります救急医療センターの会計担当としてお手伝いをさせてもらうことになりました。会計業務などやったことがないものですから、当然のことですが前任者の弘金先生よりそのノウハウ等を交え引き継ぎ話をさせていただきました。そこで、帳簿等がわかり易く良く整理されているのに驚きました。また、センター協力者に少しでも早く謝礼を支払うために振込確認（市からの入金）に、毎日銀行に通った等の話に感動を覚えました。6年間大変ご苦労様でした。

私も少しでも早く協力者に支払いできるように、また間違いがないようにしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

第2回救急蘇生法講習会の開催を終えて

学術担当・濱田 記

平成10年7月25日(土)9:00a.m.から、横須賀市救急本部のご協力により横須賀共済病院5階大講堂に於いて開催しました。

今回は、平成7年開催で好評だった同講習会の第2回ということで企画しましたが、諸般の事情により午前中の時間帯の開催となり、多数の方々にご迷惑をお掛けしてしまいました。この場を借りましてお詫び申し上げます。

また、例年この時期に開催されております3部合同の納涼会とのドッキング開催を期待されていた会員諸氏をも裏切るかたちにもなってしまい、我々学術担当も心残りであります。申し訳ありませんでした。

以上の事情もあり、参加者は15名と、当初の我々の目論見より少ない人数でしたが、結果としてアットホームで楽しい勉強会になったとも思います。

講習の内容は、ビデオ、講義、実技の順に、救急救命士他2人の救急隊員の方々の指導のもと、なごやかに進みました。市の救急隊の実状などの話しも織り交ぜた講義はとても興味深いものがありました。夜勤明けで講義にこられた隊員の方々には深く感謝致します。

ダミー人形を使用しての心配蘇生法の実技は、前回の講習参加者の諸兄も忘れかけていた記憶を呼び覚ましながら奮闘しておりました。「もしもーし！」とか「奥さーーん！？」とか……。特に若手H. H氏のパーフェクトな実技は参加者全員の記憶に確実に残る印象的なものでした。

前回の講習では特に内容的に触れていませんでしたが、三角巾を使用した直接圧迫止血法を実技指導していただきました。これもやってみると結構むずかしく、「救急隊はすごい」と感心しました。

今から3年後、その時の学術担当者に第3回救急蘇生法講習会の開催を託して報告を終わります。その時も会員諸氏の参加ご協力をお願い致します。

<第2回救急蘇生法講習会参加者名簿>

松井 清(浦賀)、中島義人(横浜南)、福島和樹(横須賀クリニック)、濱田順爾(横須賀北部)、石丸 博(横須賀北部)
須藤 敏(横須賀市民)、高橋宏之(保健所)、小野拓次郎(自宅)、服部祐治(横須賀)、大藤和男(横須賀)、羽布津嘉宏(横須賀)
菅原保富(横須賀) 堀 裕明(横須賀)、川越広範(横須賀)、前田優子(横須賀・臨床工学技士)

編集後記

今年の夏は久々に田舎で『かや』などを引っ張り出してみた。どの年代までの人が『かや』を知っているのだろうか。当然高校生の娘などは見たこともなかった。説明するのに『となりのトトロ』に出てきた・・・部屋にぶら下げてその中で寝るんよ、窓を開けて寝ても蚊に刺される心配もなく、なかなかの優れもんだから試してみな、と娘たちの部屋に吊ってやったら、大喜び、窓を開けばなしにして星空を見ながら寝ることができ、大満足だったようだ。

今の日本はちなみに庶民は『かやの外』政治家が『かやの中』、蚊がいなくなってから『かやの外』に出るらしい。

広報担当 横浜南共済病院
高崎 記

広報 横須賀市民病院
柳沢
横須賀共済病院
大竹

横須賀三浦

放射線技師会報

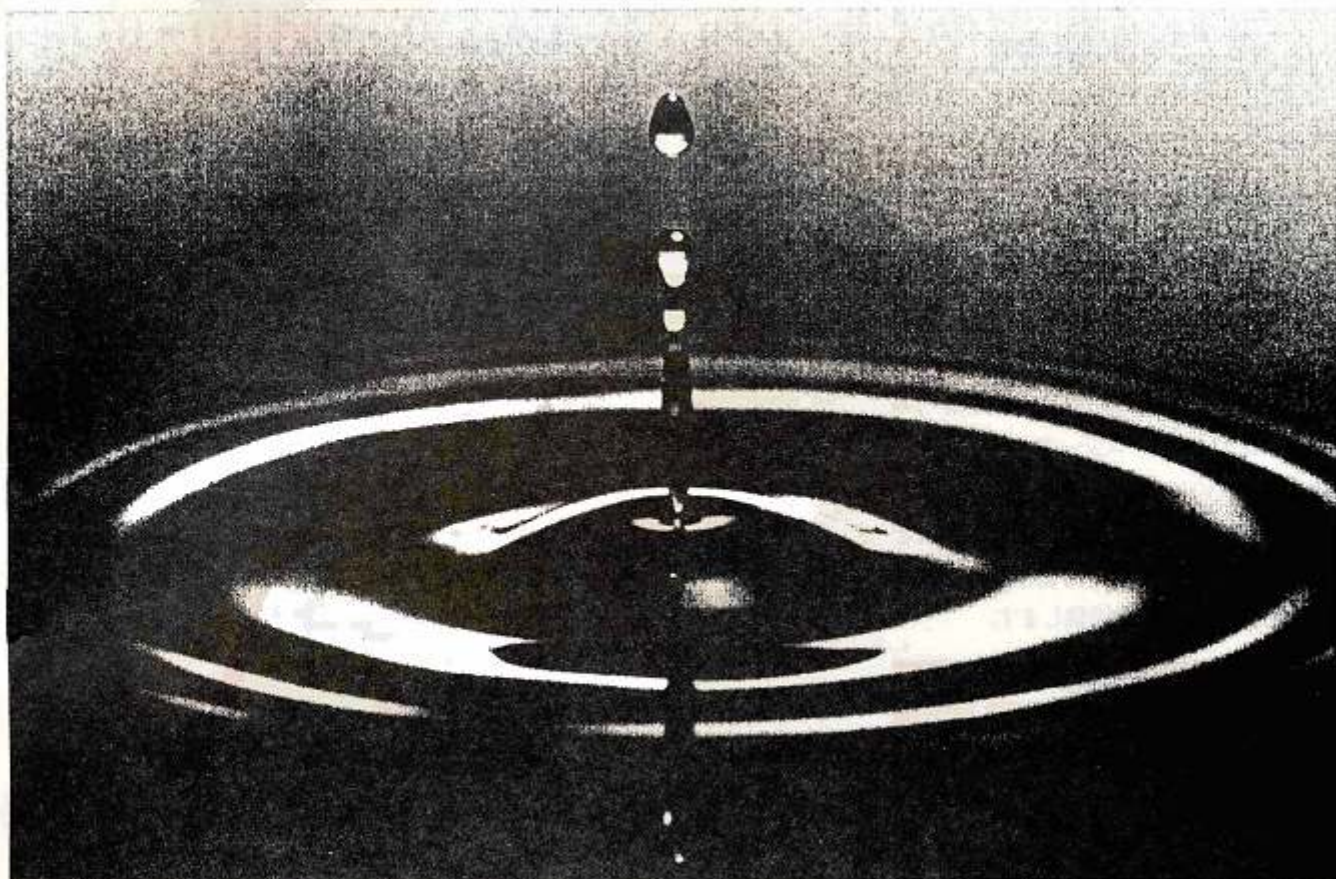
Vol.22 No.2 通算71号

1998年 9月 7日(月) 新

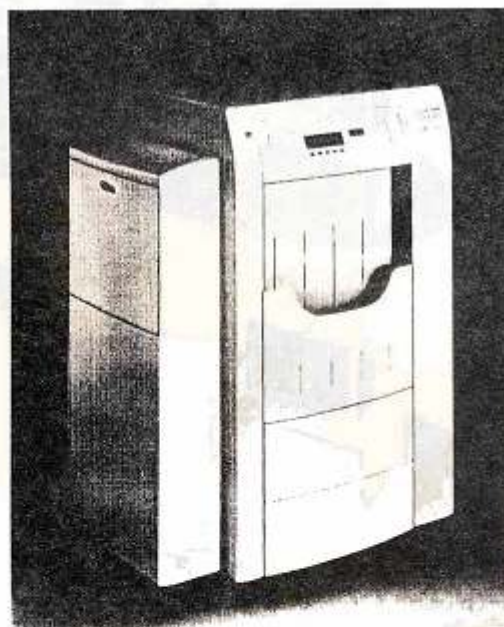
編集/発行・ 広 報 部

印刷/製本・

コダック株式会社

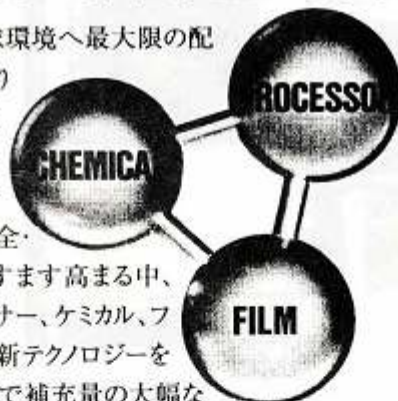


補充量を大幅に低減。さらに、世界最速30秒処理をも実現。



かけがえのない地球環境へ最大限の配慮を施しながら、よりスピーディで効率的な診断業務の実現へ。現像処理システムにおける環境保全・

高速化ニーズがますます高まる中、コダックは、プロセッサ、ケミカル、フィルムの3要素に最新テクノロジーを結集。1つのシステムで補充量の大幅な低減と、世界最速30秒処理を実現させました。コダック X-オマツ5000RA スーパーquick プロセッサは、より高度な機能を、より簡単に扱えるようにソフトウェア機能を充実。さらに、高速処理におけるフィルム搬送機構も改良し、高い信頼性をお約束します。



コダック X-オマツ 5000RA スーパーquick プロセッサ



HEALTH IMAGING DIVISION

ホームページ <http://www.Kodak.co.jp/HI>

コダック株式会社 ヘルスイメージング事業部

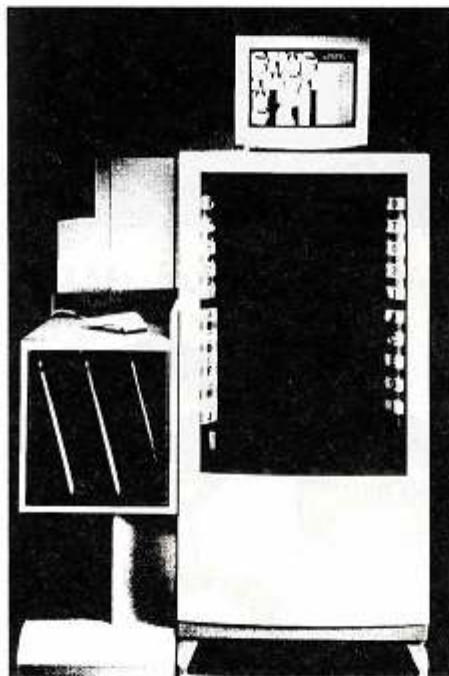
東京 〒103-8540 東京都中央区日本橋小網町6-1 山万ビル ☎(03)5644-5160
 大阪 〒550-0013 大阪市西区新町1-13-3 山川ビル ☎(06)534-7090
 福岡 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前1-2-3 住友博多駅前ビル ☎(092)413-8460
 札幌 〒060-0001 札幌市中央区北1条西7-3 日経おおわだビル ☎(011)272-5235

名古屋 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-5-10 住友商事名古屋丸の内ビル ☎(052)953-6950
 広島 〒730-0013 広島市中区八丁堀16-14 第二広電ビル ☎(082)222-9325
 仙台 〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-7-18 明治生命仙台国分町ビル ☎(022)261-1442
 高松 〒760-0023 高松市寿町1-3-2 第一生命ビル ☎(0878)22-3502

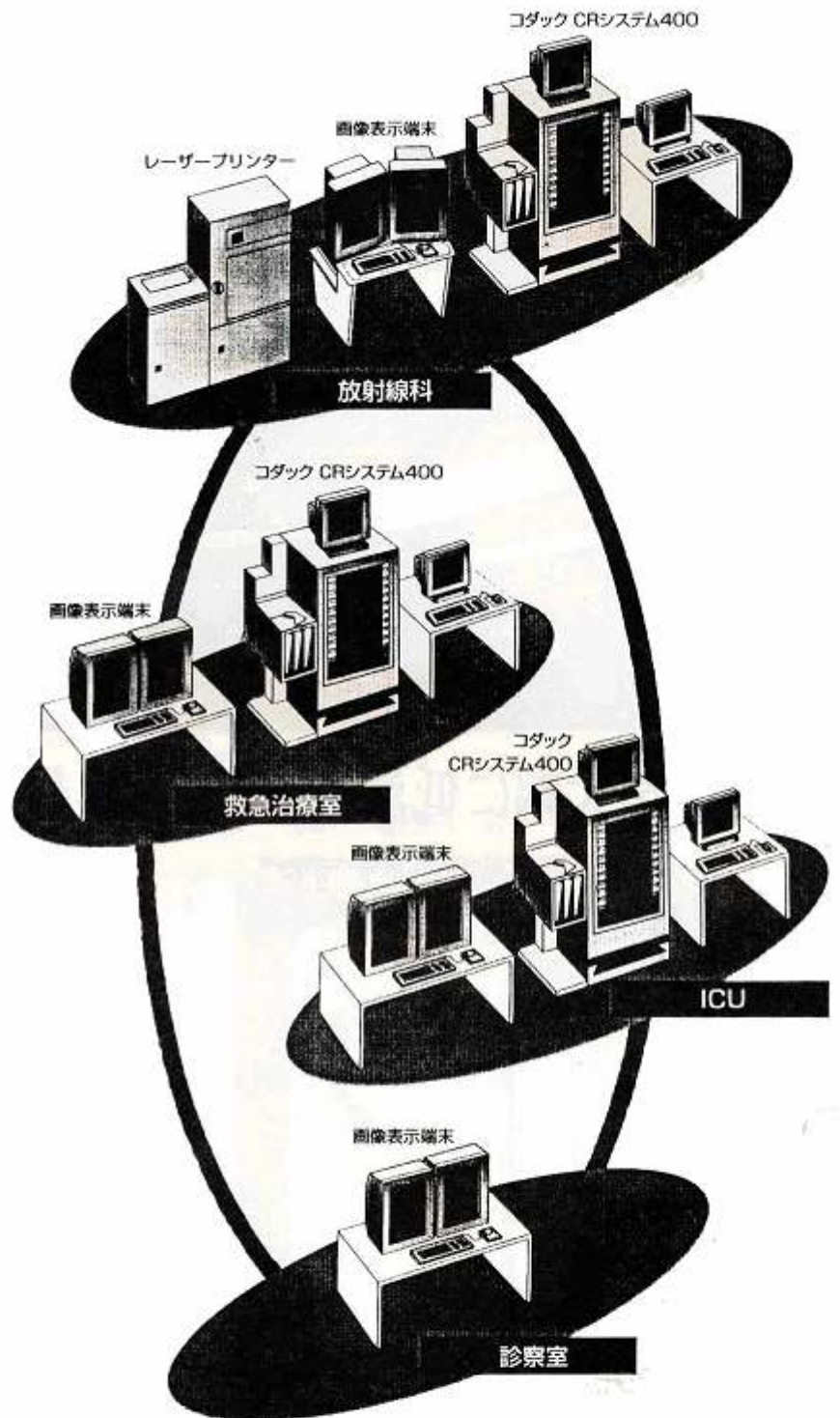
最適な診断画像をデジタル・ネットワークで瞬時に提供。

診断画像のデジタル・ネットワーク化を実現するコダックのイメージングシステム。その中核となるCRシステム400は、コダックの医用画像分野での100年に及ぶ経験がうみだした最新のテクノロジーです。

CRシステム400の優れた画像処理能力は、救急治療室やポータブルの病棟撮影などの困難な撮影条件化でも要求される診断情報を含んだ画像を提供します。



こうしてCR400によって得られた画像は、ネットワークを通して指定された診察室や読影室の画像表示端末やプリンターに自動的に転送され、診断や処理の迅速化に貢献すると同時に、業務の合理化や効率化にも貢献します。



コダック コンピューテッド ラジオグラフィック システム 400



HEALTH IMAGING DIVISION

ホームページ <http://www.Kodak.co.jp/HL>

コダック株式会社 ヘルス イメージング事業部

東京 〒103-8540 東京都中央区日本橋小網町6-1 山万ビル ☎(03)5644-5160
 大阪 〒550-0013 大阪市西区新町1-1-3-3 山川ビル ☎(06) 534-7090
 福岡 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前1-2-3 住友博多駅前ビル ☎(092)413-9460
 札幌 〒060-0001 札幌市中央区北1条西7-3 日経おおだビル ☎(011)272-5235

名古屋 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-5-10 住友商事名古屋丸の内ビル ☎(052)953-6950
 広島 〒730-0013 広島市中区八丁堀1-6-14 第二広電ビル ☎(082)222-9325
 仙台 〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-7-18 明治生命仙台国分町ビル ☎(022)261-1442
 高松 〒760-0023 高松市勇町1-3-2 第一生命ビル ☎(0878)22-3502